

淀川区
広報誌

よどマガ!

～つながる・ひろがる・ひびきあう～

11月号

令和元年
(2019年)

No.067

子どもを守るのは誰?

～11月は児童虐待防止推進月間です～

淀川区防災LINE

登録者数 **2000人突破!!**

普段は何も発信しませんが、災害時には
“重要な”災害情報を発信します。



新規登録は
コチラ



新たな大都市制度について

今回のテーマ：特別区制度(いわゆる「都構想」)がめざすもの“住民サービスの最適化” ▶▶▶ 詳しくは9面へ

思いはちがうけれど... 子どもは大切

子どもが泣いている... お母さんが困っている...
こんな景色見たことありませんか?

お互いに「見えていない」「気付いていない」ところって意外にありますよね。本当は「気になっている」し、「気付いてほしい」のに...

周りの人の思い

大変そうだな

しつても
できないの?

あんなに
泣かせて
うるさいな

うちの子も
あんなに
やったわ

最近の
若い人は...

あれって
虐待?!

声かけても
いいかな

身体しんどい

親の思い

自分の時間も
ない

頼れる人は
いない

いつも
ひとりで子どもを
みている

早く泣き止んで!!

虐待してるみたいやん。

私だって頑張っているのに。

どうしたらいいの?!

誰か助けて~

ひとりしんどい

核家族だけでの子育てが増え、周りの人とのつながりが少なくなっています。
つながりがなくなると 1人で子育て=孤育て することになってしまいます。

子育てを孤育てにしないためには...?

淀川区「おせっかい」共和国のみなさんの出番です!

地域の「つながり」や「支え合い」を広めるには、日々のあいさつや声かけなど、
ちょっとした親切=“おせっかい”を積み重ねていくことが大切です!

子育てサロン



こども食堂



見守り隊

その行動が
子どもや親を守ることに
つながるかもしれません。

子育てに役立つ
情報をコチラから
チェック!



やまちゃんの“こころ”

淀川区長 やまもと まさひろ 山本 正広



児童虐待をなくすために私たちができること

児童虐待、私はどうしても他人事に思えません。

3人目の子どもを育てる時、困惑したことがありました。教えたことがちゃんとできない。たった今注意したのに、すぐに同じ間違いをする。長女、長男ではそういうことがなかった。最初からできなくても、何度か教えればその通りにした。ですから、私はつい「こいつはちゃんと親の言うこと聞いてないのかな? 私の言うことバカにしてるのかな?」と思ってしまいました。

「今、ゆうたやろ!」「何で教えたようにせえへんねん!」声を荒げたこともありました。正直、手を上げかけたこともあります。

そんな時、何か面白いタイトルだなと思い『のび太・ジャイアン症候群』という本をたまたま手にしました。

いわゆるADHD(注意欠陥・多動性障がい)を紹介する本です。そこに書かれている症例を読んで、「ああ、うちの子は“聞かへん”じゃなく“聞けない”。“やらへん”じゃなく“や

れない”んや。一番しんどかったのはたけし自身なんだ」ということにやっと気づきました。

それからは焦らずじっくり接するようにはなれましたが、読んでなければカッとなって手を上げることが絶対になかったか、と問われると自信はありません。私も虐待の加害者になる可能性は大いにあったのです。

皆さんに特にお願いしたいのは「虐待かな?」と思った時に、できるなら声をかけてあげてほしいということです。それもできない状況なら、迷わずに通報をしてください。

痛ましい虐待事件があった時に近所の人から「そういえば…」なんて言ってる様子がよく報道されます。後で悔やんでも取り返しはつきません。心配なことがあったら下記で紹介する「区役所子育て支援室」や24時間対応の「児童虐待ホットライン」などへどうかご連絡ください。子どもの未来を守るため、どうぞよろしくお願いします。

子育てのことひとりで悩んでいませんか? **子育て相談**しています。

子育て支援室

淀川区役所2階23番 ☎6308-9939

相談受付時間 月曜日～金曜日(祝日除く) 9:00～17:30

いつでも
お電話して
ください!

大阪市は「**重大児童虐待ゼロ**」に取り組んでいます。

児童虐待ホットライン
(24時間365日対応)

フリーダイヤル **0120-01-7285**

(まずは一報なにわっ子)

